



# 京放技ニュース

6 / 2020  
(通算721号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフハウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

## 今年度事業について

公益社団法人京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

昨年12月の中国における『新型コロナウイルス』の発症報告から、はや半年がたち“パンデミック”や“クラスター”、そして“オーバーシュート”や“ロックダウン”等、いままで聞きなれないフレーズが日常にあふれる中、世界の感染者は指数関数的に拡大し、国内に於いても緊急事態宣言が発令され、自粛要請や移動制限、そして自身への感染や気付かぬ間に周囲へ感染させる恐怖など、今まで経験したことのないストレスを感じながらの生活を強いられており、会員の皆様の多くは其中でも現場に出て医療を継続し、大変厳しい状況の中で頑張っていると感じています。

私につきましても毎日、不安を抱きながらの通勤、発熱外来の患者の対応など、先の見えにくい状況に正直疲れてきておるところでございます。

診療報酬改定や、新たな医療放射線安全管理体制について4月より始まっている所ではありますが、皆様と情報共有もままならず苦慮しています。

さて、新年度を迎え本来であれば新たに京都府放射線技師会としましても様々な活動を開始し、会員の皆様に、研修会などのご案内をお示ししなければいけないところではございますが、5月、6月の研修会などの事業におきましては、延期や中止を余儀なくされており、ご迷惑をおかけいたしております。

そうは申しましても、事業につきましても徐々に準備していく予定ですので、宜しくお願いたします。

今後の予定でございますが、6月に書面決議に変更しての総会をはじめ、秋ごろには定例研修会、「フレッシューズセミナー」や、秋以降には医療基礎講習「看護学」、基礎技術講習会「超音波検査」、「撮影技術セミナー」など、可能となれば開催方式も考慮しながら準備を進めたいと思っています。

まだまだ、コロナ色で先が見えず、研修会など人が集まるようなものの企画など不謹慎と言われそうですが、会員の皆様の医療における知識や技術の向上、そしてより良い医療が京都府民に寄与されるため、会の目的に向けて動くため自身の尻を叩いておりますので、今後準備が出来次第、会員の皆様へ広報していきますので宜しくお願いたします。

まずは、総会でございますが5月9日に予定しておりましたが残念ながら延期となり、現在6月28日(日曜日)に開催すべく準備を進めております。ここで重要事項ですが、一度皆様に送付いたしました総会委任状ですが、改めて集めることが必要となります。総会を成立し、今年度の事業を進めるにあたり非常に重要で必須となります。お忙しい中、お手数ではございますが必ず送付の程宜しくお願いたします。

**会告****第73回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会のお知らせ**

公益社団法人京都府放射線技師会

会長 河本 勲則

新型コロナウイルスの感染対策と緊急事態宣言が発令されましたことから延期となりました第73回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会を定款第24条に基づき開催いたします。尚、今回の総会は、参加者と役員健康と安全を考え、少人数、短時間での開催を考えていますので、議案を書面表決で行いたいと存じます。

会員の皆様には、ご多忙のところ申し訳ございませんが、総会資料に同封しております委任状と書面議決書を6月26日(金)までに郵送にて提出をお願いいたします。

**第73回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会**

日 時 令和2年6月28日(日) 14:00～

会 場 ホテルセントノーム京都

京都市南区東九条東山王町 19-1

**総会式次第****開会の辞****議事****1. 議長選任の件****2. 議案**

## 第1号議案

①令和元年度事業報告書(案)

②令和元年度決算書(案)

③令和元年度監査報告

## 第2号議案

①令和2.3年度理事の選任の件

②令和2.3年度監事の選挙の件

**3. その他****4. 議事録署名人の選任の件****閉会の辞**

## 吉田弘先生を偲んで

名誉会員 井ノ崎 光彦

令和2年4月27日の夜、中川 善夫氏より吉田 弘名誉会員がご逝去されたと連絡があり、ご高齢で施設に入居されたとご本人から連絡を貰っていたので心配はしていましたが、遂に来る時が来たかと残念でなりません。よく勉強をされ、ご自分の信念をお持ちで人には優しく思いやりのあるお方で私が最も尊敬していた方でした。

1965年12月1日、京都中央市民病院と市立京都病院が統合され京都市立病院が開院され初代技師長に就任されたと記憶しています。私は1965年(昭和40年)の春に技師になったほやほやでしたので吉田先生を知る由もありませんでした。

吉田先生に初めてお会いしたのは、昭和43年頃だと思のですが、私の上司である福田徹夫氏に連れられ京都府エックス線技師会(昭和44年に京都府放射線技師会と名称変更)の幹事会に連れていかれた時だと記憶しています。当時、京放技の事務所はなく京都の大きな施設に事務局を置いていたためでした。幹事でもない私が何をこのこついで行ったのかいまだに疑問ですが、最先端の設備を私に見せたかったのかと思います。幹事会の最中、市立病院の設備を見学させていただき、その時初めて吉田先生を紹介して頂いたのが最初でした。

その後、時々研修会に参加してただけで技師会活動にも関心はなかった私ですが、昭和59年地区理事に就任し、研修会でお会いするようになったのが再度お会いする機会だったと思います。

1991年(平成3年)森 信一会長当時の両丹地区理事の岡本 昌三氏の招待により丹後へ蟹を食べに行くことになり、森 信一、森谷 誠一、今津 博、矢野 善四郎、吉田 弘、中川 善夫、大塚 徳行氏たちと初めて蟹を食べに行き、これが病みつきとなり毎年3月に丹後半島の方に蟹を食べに行くことになり、毎回欠席する事無く吉田先生にもご参加いただき、我々酒飲みにつき合っていました。吉田先生は私と20歳の年の差が有るのですが食欲も旺盛で元気さは我々と遜色なく健康の秘訣はよく考え、働き、食べる事だと思いました。90歳になられる手前だったと思いますが、吉田先生から「私も年ですので蟹旅行は遠慮します」と連絡を受け、それ以降は一度か二度電話でお話をしたくらいでお会いすることが無くなってしまいました。

最後に、98歳の長寿をまっとうされた吉田 弘名誉会員に対し哀悼の意を捧げご冥福をお祈り申し上げます。  
合掌

## 吉田弘名誉会員を偲んで

名誉会員 四井 猛士

本会の元会長で名誉会員の吉田弘(よしだひろむ)先生が、令和2年4月27日永眠されました。享年98歳でした。昭和24年からお亡くなりになられるまでの71年間、京都府放射線技師会の会員として、また役員として多大なる貢献をされてきました。ここに心からご冥福をお祈り申し上げます。

吉田弘名誉会員は、長年にわたり理事を多数年・副会長を3年・会長を2年・監事を複数年と要職に携わり、その基礎作りのために重要な役割をなさいました。まさに京都府放射線技師会の中興の祖だと思えます。

私と吉田弘先生のお付き合いは、昭和39年に私が山口県の技師会から京都府へ転入した時から始まりましたので、今年で56年の永きに及びました。その中でも思い出深いのは、私が山口大学附属病院から堀川病院に就任しました昭和39年10月に、当時副会長でありました吉田先生に京放技におけるノウハウを、実にきめ細かくご指導いただきましたことです。今でも克明に記憶に残っています。良い思い出となりました。

先生は、役職を降りられてからも、技師会の行事にはほとんど参加されました。中でも定例の研修会には、80歳を超えてからも積極的に出席される姿に感銘を受けていました。先生は、お酒は殆ど飲めない体質でしたが、懇親会などには積極的に参加され「飲めないお酒の乾杯役」を頻繁にお引き受けになり、私はその乾杯音頭のお姿を何十回となく眺めていました。

顧みますれば、往時技師会事務所取得前に、当時京都府放射線技師会会長でありました関係で、京都市立病院放射線科待合室で理事会を開いたことです。大変な黎明期に、真剣に向き合われたお姿を克明に覚えています。晩年はさすがに衰えられ会合への参加回数は減りましたが、それでも5年前の久寿会の例会には93歳で参加されました。公式行事でのお姿はこれが最後になりました。私が技師会活動をご一緒した、今津博先生・森信一先生・石山忍先生・矢野善四郎先生・小倉佐助先生それに今回の吉田弘先生と次々に良き先輩を失い、さびしい限りです。語ればキリがありません。哀悼の気持ちでいっぱいです。吉田弘名誉会員・享年98歳。お世話になりました。そしてありがとうございました。

心から、御冥福をお祈り申し上げます。

合掌

## 吉田弘名誉会員を偲んで



公益社団法人京都府放射線技師会会長 河本 勲則

令和2年4月27日、本会の元会長で吉田弘名誉会員がご逝去されました。享年98歳でした。会を代表してご生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

吉田名誉会員は、昭和23年に日本放射線技師会京滋支部設立に幹事として尽力され、昭和26年京都府エックス線技師会と改称され昭和37年まで幹事、昭和38年から副会長を歴任、昭和44年に京都府放射線技師会となり、会長に就任されています。本会の設立から現在の公益社団法人京都府放射線技師会となるまで職能団体としての組織づくり、身分法改正、事務所取得など多くの苦難を乗り越え、本会の発展と診療放射線技師の地位向上にご尽力されました。この

功績は多大であり、永年に渡る本会への熱き思いに感謝の念は絶えません。安らかな旅立ちでありますよう、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

## 名誉会員故吉田弘氏を悼む

名誉会員 芦田 暢夫

本会名誉会員吉田 弘氏のご逝去の訃報に深い悲しみを覚えます。

先生は、私が京都府立医大に奉職する数年前に京都府立医大で技術を習得されたとお聞きしています。その後京都市立病院でその才を発揮され、昭和43年～昭和44年度では本会会長として本会を指導されました。昭和26年に診療エックス線技師法が設定され、受験のための講習会の開催、特例試験の準備など当時の執行部の方々と率先して慌ただしく動かれ、昭和28年2月にそのスケジュールが終了しました。それまで故吉田先生を先頭に会員、執行部が一丸となり技師法制定と国家試験突破を目標に頑張ってきました。それが済むと、一層の資質の向上を目指し勉強会をもとうではないか、と先生の発想と幹事の方々と自然の話の中で出たとお聞きしています。

また、研修会はどんな些細なことでも良いから研究したこと、経験したことを発表し合い、そして何よりも永続させなければならないと言っておられました。まず第1回研修会は故吉田弘氏が「立体撮影の計測の一法」と題して発表されました。このことが京放技の研修事業として現在も継続されているものと思います。

まだまだ言い尽くせませんが学問の師だけでなく人生の師でもあった故吉田弘先生、ありがとうございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

### ▶ 理事会で決定、報告された重要事項

4月26日臨時理事会（メール会議）にて、本総会は議案を書面表決にて議決することが承認される

### ▶ 6月以降の京放技活動

6月28日(日) 第73回通常総会

ホテルセントノーム京都

### ▶ 6月以降の京都府以外での近隣講習会

新年度のイベントは決まっています。

## 会 員 異 動

【訃報】 吉田 弘（名誉会員） 4月27日御逝去

ご冥福をお祈りします。合掌。

編集：(公社)京都府放射線技師会編集委員会 印刷：(有)修美社